

## 研究課題名：周術期における準備血液製剤の過不足状況の調査

### 1. 研究の対象

2015年4月1日～2025年3月31日までに当院において麻酔科管理下で手術が施行された18歳以上の患者さん

### 2. 研究目的・方法・期間

血液製剤は限りある貴重な資源で、手術前後においても過剰発注・過剰在庫を防ぐことが重要となります。過剰な準備血液は、地域の血液供給のバランスを崩すのみならず、貴重な血液製剤を無駄にする可能性があります。一方で不足すると患者さんに不利益が生じることも考えられています。

さらに、近年では献血者の減少により、血液製剤はますます貴重な資源として認識されるようになっているため、手術前に準備される血液製剤の適正量の把握や血液製剤の在庫の管理、輸血用血液廃棄率などは、輸血部門における輸血療法に対する取り組みを示す指標となるだけでなく、病院全体としての医療の質の指標にもなっています。

本研究では、当院における大量出血症例で事前に準備された血液製剤量、術中に追加発注された血液製剤量、実際の出血量、在庫血液製剤量の妥当性の検討を行い、当院での輸血運営の問題点や各術式における適切な準備血液製剤量を明らかにすることを目的としています。

**研究期間：**研究実施許可日～2026年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子診療記録より下記の項目を抽出する予定です。

情報：

患者背景

患者名(イニシャル)、カルテ No、年齢、生年月日、性別、身長、体重、肥満度(BMI)、ASA/PS分類、基礎疾患、術前 Hb 値、フィブリノゲン値、血小板数、診療科、手術部位、麻酔時間、術中の in-out バランス、術中出血量、周術期合併症の発症率、入院期間中の生存情報、入院期間

血液製剤に関する項目

術前に準備された血液製剤の量(赤血球製剤、血漿製剤、血小板製剤)

血液製剤の準備法(Type&Screen法、クロスマッチ完了法)

術中に追加発注された血液製剤の量

術中に使用されなかった準備血液製剤の量

該当期間における病院全体の血液製剤の廃棄率

試料：なし

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人  
の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出く  
ださい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

佐賀大学医学部麻酔・蘇生学講座

〒840-8501 佐賀市鍋島町 5-1-1 Tel: 0952-34-2324(医局)

佐賀大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科 講師 谷川義則（研究責任者）

#### 【この研究の試料・情報の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報等には個人を識別でき  
ないよう処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を  
講じたうえで取り扱っています。

このお知らせは研究実施許可日より 2026 年 3 月 31 日までの間、研究対象となる患者さ  
んへの公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページで掲載して  
いるものです。

佐賀大学医学部附属病院臨床研究センター <http://chiken.med.saga-u.ac.jp>

なお、この研究内容は佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会で審査を受け、研  
究機関の長の許可を受け実施されています。臨床研究センターHP では、佐賀大学医学部附  
属病院臨床研究倫理審査委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧下さい。